

令和6年国立市議会第3回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第3回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、青少年国内交流事業についてですが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の蔓延、また台風の影響により現地への派遣を中止しておりましたが、5年ぶりに長崎への派遣を実施することができました。期間は8月7日から9日、派遣された児童は小学校6年生16名となります。

派遣生は現地において戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを学び、8月25日の報告会においてそれぞれの学んだことについて発表いたしました。報告会には多くの保護者及び市民並びに議員の皆様にご参加いただいたことに対し、感謝申し上げます。

それでは、6月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

平和施策についてですが、「くにたち平和の日」イベントにつきまして、6月22日にくにたち市民芸術小ホールにおいて、「対話」をテーマに広島、長崎の原爆体験者の伝承者講話や、違いや対立・分断を超えた友情をテーマとしたアニメーション映画の上映会を実施し、合計で222名の方にご参加いただきました。映画会では10代の子どもの参加が多く、対話を通じて平和を考えるひと時となりました。

また、6月23日には「第15回市長と語るタウンミーティング」を矢川プラスで開催し、52名の方にご参加いただきました。過去に青少年国内交流事業に参加した中学生や市内の大学院生、会場参加者の皆様と共に、これからの平和について意見交換いたしました。

次に、国立市デジタル地域通貨「くにpay」についてですが、9月2日からの利用開始に向けて、加盟店募集を7月16日から開始いたしました。

8月23日までに合計で142店舗の応募があり、店頭での決済に必要な二次元コードや加盟店ステッカー等を各店舗宛てに送付いたしました。引き続き、利用開始に向けて準備を進めてまいります。

次に、健康福祉部関係です。

熱中症予防についてですが、7月から市民の皆様が外出先で熱中症から身を守っていただけるよう、多くの事業者にご協力いただき、公共施設では18箇所、民間施設では175箇所に暑さをしのげる熱中症予防一時避難所を設置いたしました。

次に、国民健康保険についてですが、国や都の保険税水準統一に向けた新たな方針を受け、保険税や赤字繰出金を取り巻く環境が大きく変わることから、今後の国立市国民健康保険財政における保険税率改定の考え方について議論いただくため、8月21日に国立市国民健康保険運営協議会へ諮問をいたしました。

次に、子ども家庭部関係です。

国立市子ども基本条例素案のパブリックコメントについてですが、7月16日から8月6日まで行い、大人12名、子ども15名からご意見をいただきました。

いただきましたご意見を参考に条例案の作成に向けて一層の努力をしてまいります。

次に、生活環境部関係です。

第36回くにたち朝顔市についてですが、大学通り緑地帯において、7月6日・7日の2日間にかけて開催されました。今回は天候にも恵まれて、販売数は予約販売を合わせ1,773鉢でした。

また、市内事業者等の模擬店出店があったほか、子ども向けの企画もあり、市民の方はもとより、市外からも多くの来場者がありにぎわいました。

次に、令和6年度自治会連絡会についてですが、7月8日に市役所において開催しました。当日は24自治会の参加があり、市と意見交換を行いました。

また、自治会加入促進のため、7月1日から市民課窓口において、転入手続きを行った方に対し、お住まいの地域の自治会案内をまちの振興課で行っていることの案内を開始いたしました。

次に、国立市緑の基本計画市民ワークショップの開催についてですが、第1回ワークショップを7月15日に、第2回ワークショップを8月24日に開催しました。第1回は20名、第2回は17名の市民の方にご参加いただき、緑の基本計画改定に向けた意見・アイデアなどをいただきました。

次に、第10回国立まと火についてですが、7月21日に多摩川河川敷公園において開催されました。

国立まと火は、友好交流都市の北秋田市の旧合川町で継承されております、先祖を敬う伝統行事の「まと火」を国立の地で再現するものであり、今回で10回目を迎えました。

当日はダンポと呼ばれる約500個の球状の木綿に火が灯る幻想的なひとときを会場にお越しの沢山の方々が鑑賞しておられました。

また、北秋田市の特産品の販売やシャトルバスの運行等も行い、盛況の中無事に終了することができました。

開催にあたり、天候状況などを見極めながら、必要な対策を講じつつ、ご尽力いただきました実行委員会及び関係者の皆様に感謝申し上げます。

次に、ごみ減量施策についてですが、6月27日付けでリユース事業者の株式会社マーケットエンタープライズと、不用品のリユース促進における連携協力を行うための協定を締結し、ネット型リユース事業「おいくら」をスタートいたしました。

市民の方が捨てる前に「おいくら」を活用したリユースを

検討していただけるよう周知・啓発に努めてまいります。

次に、都市整備部関係です。

国立駅南口駅前広場整備事業についてですが、基本設計に市民の皆様の意見を反映させるため、市民参加型のワークショップ「くにたちえきひろ大学」を7月14日、8月10日の2回開催いたしました。

第1回は34名、第2回は25名の参加があり、様々な年代の方から意見をいただきました。

引き続き国立駅南口駅前広場がこれまでの歴史や理念を継承し、旧国立駅舎とともに「くにたち」の顔となることを目指して基本設計を進めてまいります。

次に、くにたちマルシェについてですが、6月11日から7月27日にかけて、毎週火曜日は市役所西側広場、毎週土曜日は国立駅北口駅前広場で開催いたしました。雨天で中止となった6月18日を除き開催日は概ね天候に恵まれ、多くの方々にご来場いただき、国立産の農産物や地場農業をPRすることができました。

次に、教育委員会関係です。

北秋田市との交流事業である「マタギの^{ちえ}地恵体験学習会」についてですが、7月26日から28日にかけて、国立市の小学4年生から6年生の児童13名が、北秋田市で開催された体験学習会に参加し、北秋田市の児童10名と共にマタギ文化の学習や体験、また植林活動などを行いました。

次に、中央図書館開館50周年記念式典についてですが、7月28日にくにたち市民芸術小ホールで実施いたしました。

式典の第一部では図書館運営にご協力いただいているボランティアの皆様へ感謝状の贈呈式、第二部では国立市出身の絵本作家^{ふりや}降矢ななさんの講演会を行い、ボランティアを含む237名の方にご参加いただきました。

次に、食育イベントについてですが、給食の作り手を知り、給食を身近に感じていただくため、7月31日に市内在住の小中学生とその保護者を対象にカムカムキッチン探検ツアーを開催いたしました。

参加者は普段は入ることができない調理場に入り、エアシャワーや調理体験、配送車への試乗等をしていただきました。

当日は午前の部では47名、午後の部では44名の方に参加いただき、参加者アンケートでは多くの方にご満足の声をいた

だきました。

終わりに、本定例会には、令和6年度国立市一般会計補正予算案等7議案を提出させていただいておりますが、このうち2件については、令和2（2020）年度と令和6（2024）年度に行った小学校教師用教科書及び指導書の買入れについて、議会に追認をお願いするものとなります。

本来であれば議会の議決を経た上で買入れを行うべきところ、追認の議案の提出となったことに対しまして、深くお詫び申し上げます。

また、報告事項2件、令和5年度国立市一般会計、各特別会計及び公営企業会計の決算認定等6件については準備が整い次第追加提出させていただきますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和6年（2024年）8月29日

国立市長 永見 理夫